

雨の日に

附屬幼稚園

清水光子

四六

又雨の多い季節がまゐりました。昨日も、今日もこの雨の
日が続く。天候に氣分を支配される事の多い子達をき
もちよく遊ばせる手段さいふのもおかしいのですが、種が
つきてしまひます。あてつこ遊び、なぞくあそび、しり
こりなき種々に趣向をかへて、椅子こりなきの運動的な遊
びの間にこり入れてしてみます。倉橋先生がいつも仰言
のですが特別にかまへない觀察がよくたもごくその觀察さ
いふ様なこを例にお引きになりますが、こんな觀察が雨
の日をかへつて幸こ出来るこもありません。觀察は智識を
得させるのではない、態度をつくるのだ。先日の座談會で
も力を入れて伺つたこでした。あれやこれや考へ合せ
て、本當に平凡で馬鹿々々しいやうなこです。くれぎ雨の
日の遊び二つ三つをしたまゝに次に。

ひえ蒔き

貝殻、空罐(こ)言つても今は少いのでクリームやポマード
なきのびんの蓋を用ひました)に古綿少々、又は水を吸ひ易
い紙を敷いてそれにひえをまきます。絹絲草も結構です。
子さも達銘々に一つづゝ持たせまゝこ随分嬉しさうです。
貝殻から可愛いゝ芽が揃つて出ます。毎日霧吹きて水をか
けて樂しみます。少しのびたら間に簞笠をつけた人の形
を、ひごこ紙の切端で作つて立てまゝこ一寸面白いもので
す。

貝殻角力

はまぐりの貝殻、あさりでもよろしいのですが、大小い
ろくゝなのを一枚づゝに分けてきれいに洗つてかわかして
置き、それを一枚づゝ向ひ合せて二人以上でめいゝ一枚
づゝ持つて指先で押すやうに弾いて、相手の貝殻にかぶせ
つこします。かぶせたら勝です。一人づゝ順に弾き勝負を

きめます。簡単なやうですがすべつたり、それたりして容易に勝を制するこゝが出来ません。角力のやうに中で強い貝があつたりして、大きい貝必ず強いに限らないのも面白い、貝の模様によつて色々名がついたりします。自然に貝殻の觀察が出来るやうです。

石落し

お庭の砂利石の中できれいな石を拾ひつこした事がありました。赤、緑、白、黒に紋のあるの、なきいつも平氣で知らずに踏んでゐた細い石の中にこんなきれいな石があつたさう驚き喜びに、その石を洗つて取つておきました。雨ふりの或日それを空き箱の上に竝べて或距離から紙をたまにしたゴム鐵砲でうつておきます。少し丈夫な紙でこしらへたのでしたら紙飛行機で爆撃しても面白いのです。又ひざ竹で作つた弓でもいゝのです。少し少々あぶないので紙鐵砲でした。石の色によつて點をきめ、點をつけて點取りあそびをします。これは男兒に喜ばれます。

雷ごっこ

私共の幼稚園は床が板です。板にはいろ／＼な木目があつて、見るまに面白いです。机や椅子を少し端によ

せて床の見えるやうに廣くします。そしてみんなで木目を見て白つばい所や黒つばい所粗い縞の所や水の流れのやうな所、を山ミか川ミか海ミか原つばミかにきめます。よくわかるやうにヤマ、ハラツバミいふやうに白墨で書いて置きました。みんなまはりに腰掛けて誰か一人雷になります。雷になつた人はゴロ／＼／＼／＼と言ひ乍ら山、川なききめてない所を歩き、又は走りまはります。そしてきめてある所に入つて止りドシンと言ひます。その時まはりの人は大いそぎで顔を伏せて小さくなるのです。それを忘れたり、後れたりしたら、その人が次の雷になるのです。父雷がドシンミいはずに山や川に入つたら何度も雷をつづけます。これは運動的な部分があつて、ふつうの雷あそびより面白いやうに思はれましたのでかいてみました。

(三九頁よりつづく)

倉橋「併しニイルなんかは随分變つてゐる人ですよ、凡て學説を考へる時には、その人といふものを頭に置く必要が
ありますね、

それよりも今のあの子供の問題では、折角く同年齡の子供の大勢ある、幼稚園といふ環境に居りながら、特定のたゞ一人とだけ遊ぶといふことは折角の機會があるのに、自分から生活をせばめ性格を狭めることになるので、その點を私は憂へるのです。」